

愛知県美術館では、教育プログラムの一環として、愛知県内の小学校・中学校・高校の先生方と「鑑賞学習交流会」を行っています。今回はこの「鑑賞学習交流会」をご紹介します。



▲ 昨年度に開かれた〈大ローマ展〉関連ワークショップについての発表

交流会のなかでは、先生方が鑑賞教育の実践例を紹介したり、学芸員が展覧会について解説を行ったりして、鑑賞教育についての情報交換を行なっています。

簡単に言うと、鑑賞学習についての勉強会のようなものですが、図工・美術専科の先生だけでなく、そのほかの教科の先生にも多く参加していただいています。



▲ 展示室内で、学芸員の解説に耳を傾ける先生方



▲ 昨年度のワークショップを再現、古代ローマの衣服「トガ」を着る I 先生。

この発表を聞いて「実際に彫刻の授業で参考にしたい」という意見もいただきました。

鑑賞学習交流会は、2、3ヶ月に一度のペースで開かれており、企画展の開催ごとに各学校にその案内を送っています。

「鑑賞学習についてもっと知りたい」という方、「鑑賞の授業で、こんな方法があるんだけど」という

方などなど、鑑賞教育にご関心のある先生方、ぜひお気軽にご参加ください（予定などの詳しい情報は
こちらをご覧ください。）（S.S.）